

トウヨウワラジムシ科 Trechelipidae  
 ホクリクサトワラジムシ *Mongoloniscus sp.*  
 (aff. *hokurikuensis* Nunomura)  
 [調査標本] 2頭、片倉付近味川9月6日  
 2頭ともメスなので種の識別が出来なかった。

ワラジムシ科 Porcelionidae  
 ワラジムシ *Porcellio scaber* Latreille  
 [調査標本] 1頭、味川大橋9月6日、; 5頭、金谷橋9月6日、; 8頭、新聞島橋付近7月6日、; 1頭、新聞島橋付近9月6日、

オカダンゴムシ科 Armadillidiidae  
 オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* (Latreille)  
 [調査標本] 2頭、緑ノ庄七曲谷8月12日; 1頭、新寺尾橋8月12日; 3頭、高戸橋9月6日; 2頭、一の瀬橋9月6日; 3頭、西の川橋8月12日; 1頭、片倉付近9月6日; 3頭、久保付近9月6日; 1頭、一勿9月6日; 1頭、味川大橋9月6日; 1頭、市谷橋8月12日; 2頭、金谷橋9月6日; 2頭、田中橋8月12日; 3頭、新道橋、平成20年7月6日、; 1頭、稲積橋、7月6日、; 3頭、桜橋7月6日; 3頭、新聞島橋9月6日; 1頭、新聞島橋9月6日。

コシビロダンゴムシ科 Armadillidae  
 セグロコシビロダンゴムシ *Spherillo dorsalis* (Iwamoto)  
 [調査標本] 5頭、懸札集落上8月12日; 5頭、京地モミ林、7月6日 [平内好子氏採集]

引用文献

- 布村昇 (1998) いたち川の無脊椎動物。いたち川自然環境報告 (1995-97)。富山市科学文化センター  
 布村昇 (2002) 底生無脊椎動物 in 庄川水系合口ダム流域調査 富山県砺波農地林務事務所  
 布村昇 (2006) 底生無脊椎動物 in 富山県魚津林務事務所・富山県生物研究会・水土里ネットワーク富山、黒部川合口流域地区生態系調査報告書 富山県、魚津農地林務事務所。

流域名	地点名と土手および隣接地の環境	ニホンヒメフナムシ	ナガワラジムシ	ホクリクサトワラジムシ	セグロコシビロダンゴムシ	ワラジムシ	オカダンゴムシ	オカトビムシ
上余川	懸札上(森林)	○			○			○
	懸札沖出南(草)	○						
	緑ノ庄(草)						○	
	新寺尾橋(草)	○						
	高戸橋(草、森)						○	○
	一の瀬橋(草、森)						○	○
	西の川橋(草)						○	
一勿川	片倉(草、森)	○		○				
	久保(草)						○	
	一勿(草)						○	
	味川(草、森)	○						○
	味川大橋(草)					○	○	
	小川(草、森)	○						○
	市谷橋(草)				○		○	
余川	五柱橋(草)				○			
	田中橋(草、森)				○		○	
	古戸橋(草)				○			
	金谷橋(草)					○	○	
	新道橋(草)						○	
	稲積橋(草)						○	
	桜橋(草)						○	
新聞島橋(石・砂)					○	○	○	
京地モミ林	○	○		○				

表：各地点毎の出現状況

氷見市上余川水系の水生昆虫

川添 憲三

〒930-0137 富山市呉羽本町6566

Fauna of aquatic insects of Kamiyokawagawa River, Himi-shi, Toyama Prefecture, central Japan

Norimitsu Kawazoe

Kurehahonmachi 6566, Toyama, shi, Toyama 930-0137, Japan

上余川は富山県氷見市の北西、懸札の山地にある沼地(標高約400mm)を水源とする小河川である。上流部は山地の平坦部は水田、畑地でその間の窪地を伝って小川が形成されている。そのような場所には、水量も多くないため、わき水がある部分には、サワガニ、ヨコエビ類が僅かにみられる程度である。水量が多くなるに従って、サワガニ、ヨコエビに加えて、蜻蛉目均翅亜目カワトンボ科のオオカワトンボ、不均翅亜目オニヤンマ科のオニヤンマ、トビケラ目カクツツトビケラ科のオオカクツツトビケラ等が見られるようになる。更に懸札より下流になると小溪流の体をなし、V字谷状になりコンクリートで護岸され、調査を行うのが危険なところが所々に見られた。更に下流の緑の庄付近は、砂岩層でできており、水生昆虫としてはカゲロウ目ではモンカゲロウ科フタスジモンカゲロウ、蜻蛉目では上流でも見られたオオカワトンボ、トビケラ目ではアミメシロフツヤトビケラ科のPCシロフツヤトビケラ、PBシロフツヤトビケラがみられた。この場所は砂地が多く水生昆虫にとっては、夏場は住みにくいように思われる場所である。更に下流の市ノ瀬付近は細かい粘板岩層で所々に窪みや粘板岩の破片があり、流れが速く水量も多くなり小溪流状で瀬と淵が交互に現れる河川形態である。粘板岩の表面にカゲロウ目のコカゲロウ、ヒメヒラタカゲロウ類が見られた。粘板岩の破片の間にカゲロウ目マダラカゲロウ科のヨシノマダラカゲロウ、蜻蛉目では均翅亜目カワトンボ科のオオカワトンボ、不均翅亜目サナエトンボ科ヒメクロサナエ、モイワサナエ、

コオニヤンマ、ヤンマ科コシボソヤンマ、カワゲラ目ではカワゲラ科ヒメオオヤマカワゲラ、フタツメカワゲラ、クロヒゲカワゲラがまた広翅目のヘビトンボもみられ、更に岩陰や水のよどみにはカゲロウ目チラカゲロウ科チラカゲロウ、モンカゲロウ科フタスジモンカゲロウとこの場所に来て個体数も種類数も俄然多くなって、季節が良ければもっと採取される種類数も個体数も多くなることが期待される。

さらに下流の京地橋付近は両岸にアシ、マコモが生えるこの付近に昔あった河川形態の場所で、川底はやや鉄分の多い赤褐色きみの砂泥である。所々に土砂の流出を留める水制堰が設けてあり、水制堰には砂泥に住めない種類の昆虫が見られる。この付近で見られる昆虫は、アシ、マコモの根付近では蜻蛉目均翅亜目のオオカワトンボ、ハグロトンボ、アオハダトンボ、不均翅亜目オニヤンマ科オニヤンマ、サナエトンボ科ヤマサナエ、ヒメクロサナエ、コオニヤンマで、砂泥付近に見られるものはカゲロウ目のモンカゲロウ科フタスジモンカゲロウ、キカワカゲロウが見られ、水制堰付近ではその他のカゲロウ目コカゲロウ科フタバコカゲロウ、カワゲラ目カワゲラ科フタツメカワゲラ、カミムラカワゲラ、トビケラ目シマトビケラ科ウルマーシマトビケラ、セリーシマトビケラ、カクツツトビケラ科オオカクツツトビケラ、エグリトビケラ科ニンギョウトビケラ等であった。この付近の特長は、蜻蛉目が豊富で他の種類も個体数も少なかった。

この川を調査して、特に多く採取された昆虫類

は蜻蛉目が多く、特に均翅目カワトンボ科のオオカワトンボがどの場所でも見られ、蜻蛉類が少なくなっていると言われるがこの余川川にはトンボ類が多いように思われる。また県の他の箇所では標高がもっと高いので、標高の高い部分には扁形動物のウズムシ類と昆虫類ではカワゲラ類が最初に現れるのであるが、この上余川川では、標高の

高いところは水量も少ないので、低山の細流に現れるヨコエビ類や蜻蛉類のオニヤンマ、オオカワトンボ類がまた双翅目のガガンボの幼虫も見られる。そして水量が多くなる中流域（一ノ瀬）でカワゲラの幼虫が見られる。更に京地橋辺りでもカワゲラの幼虫が少数であったが見られた。

氷見市余川川調査水生昆虫採集目録

カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	08.04.08	八幡橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	08.04.08	八幡橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	08.04.08	八幡橋
カワゲラ目	カワゲラ科	フタツメカワゲラ	08.04.08	八幡橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	08.04.08	五柱橋用水
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ	08.04.08	五柱橋用水
双翅目	ガガンボ科	ガガンボ属	08.04.08	五柱橋用水
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属	08.07.06	桜橋
トビケラ目	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	08.07.06	桜橋
カゲロウ目	カワカゲロウ科	キカワカゲロウ	08.07.06	京地橋
トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	08.07.06	京地橋
トンボ目	サナエトンボ科	コオニヤンマ	08.07.06	京地橋
トンボ目	サナエトンボ科	ミヤマサナエ	08.07.06	京地橋
カゲロウ目	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	08.07.06	一ノ瀬橋
カゲロウ目	チラカゲロウ科	チラカゲロウ	08.07.06	一ノ瀬橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	08.07.06	一ノ瀬橋
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	ウエノヒラタカゲロウ	08.07.06	一ノ瀬橋
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	キブネタニガワカゲロウ	08.07.06	一ノ瀬橋
トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	08.07.06	一ノ瀬橋
トンボ目	サナエトンボ科	ヒメクロサナエ	08.07.06	一ノ瀬橋
トンボ目	サナエトンボ科	コオニヤンマ	08.07.06	一ノ瀬橋
カワゲラ目	カワゲラ科	ヒメオオヤマカワゲラ	08.07.06	一ノ瀬橋
カワゲラ目	カワゲラ科	フタツメカワゲラ	08.07.06	一ノ瀬橋
カゲロウ目	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	08.07.06	余川水門
カゲロウ目	カワカゲロウ科	キカワカゲロウ	08.07.06	余川水門
トンボ目	エゾトンボ科	コヤマトンボ	08.07.06	余川水門
トンボ目	オニヤンマ科	オニヤンマ	08.07.06	余川水門
トンボ目	サナエトンボ科	コオニヤンマ	08.07.06	余川水門
トビケラ目	エグリトビケラ科	ニンギョウトビケラ	08.07.06	余川水門
広翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	08.07.06	余川水門
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	08.07.06	七曲谷
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	クシゲマダラカゲロウ	08.07.06	七曲谷

カゲロウ目	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	08.07.06	七曲谷
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属	08.07.06	七曲谷
トンボ目	カワトンボ科	オオカワトンボ	08.07.06	七曲谷
トビケラ目	ヤマトビケラ科	コヤマトビケラ属	08.07.06	七曲谷
半翅目	アメンボ科	シマアメンボ	08.07.06	七曲谷
トビケラ目	アミメシマトビケラ科	PBシロフツヤトビケラ	08.07.06	懸札
鞘翅目	ヒラタドROMシ科	ヒラタドROMシ(成虫)	08.07.06	懸札
半翅目	アメンボ科	ヒメアメンボ	08.07.06	間島橋
トンボ目	サナエトンボ科	ホンサナエ	08.07.06	東味川橋
双翅目	ガガンボ科	ガガンボ属	08.07.06	西の川橋
トンボ目	カワトンボ科	オオカワトンボ	08.08.12	懸札集落上
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ	08.08.12	懸札集落上
鞘翅目	ヒラタドROMシ科	ヒラタドROMシ(成虫)	08.08.12	懸札集落下
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ	08.08.12	新寺尾橋
カゲロウ目	カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	08.08.12	市谷橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	マダラカゲロウsp.	08.08.12	市谷橋
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	アカマダラカゲロウ	08.08.12	市谷橋
鞘翅目	ヒラタドROMシ科	ヒラタドROMシ	08.08.12	市谷橋
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ	08.08.12	七曲谷
トビケラ目	アミメシマトビケラ科	PCシロフツヤトビケラ	08.08.12	七曲谷
トビケラ目	アミメシマトビケラ科	PBシロフツヤトビケラ	08.08.12	七曲谷
カゲロウ目	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	08.09.06	一ノ瀬
カゲロウ目	チラカゲロウ科	チラカゲロウ	08.09.06	一ノ瀬
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ	08.09.06	一ノ瀬
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ	08.09.06	一ノ瀬
カゲロウ目	マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ属	08.09.06	一ノ瀬
トンボ目	カワトンボ科	オオカワトンボ	08.09.06	一ノ瀬
トンボ目	サナエトンボ科	モイワサナエ	08.09.06	一ノ瀬
トンボ目	ヤンマ科	コシボソヤンマ	08.09.06	一ノ瀬
カワゲラ目	カワゲラ科	クロヒゲカワゲラ	08.09.06	一ノ瀬
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ	08.09.06	一ノ瀬
トビケラ目	ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ	08.09.06	一ノ瀬
トビケラ目	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	08.09.06	一ノ瀬
広翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	08.09.06	一ノ瀬
カゲロウ目	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	08.09.06	久保
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属	08.09.06	久保
カゲロウ目	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	08.09.06	久保
トンボ目	エゾトンボ科	コヤマトンボ	08.09.06	久保
トンボ目	トンボ科	コフキトンボ	08.09.06	久保
カワゲラ目	カワゲラ科	クロヒゲカワゲラ	08.09.06	久保
トビケラ目	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	08.09.06	久保

広翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	08.09.06	久保
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属	08.09.06	一劔
トンボ目	カワトンボ科	オオカワトンボ	08.09.06	一劔
トンボ目	オニヤンマ科	オニヤンマ	08.09.06	一劔
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ	08.09.06	一劔
トビケラ目	カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	08.09.06	一劔
双翅目	ガガンボ科	ガガンボ属	08.09.06	一劔
鞘翅目	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	08.09.06	田地橋
カゲロウ目	モンカゲロウ科	モンカゲロウ	08.10.06	京地橋
カゲロウ目	カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	08.10.06	京地橋
カゲロウ目	チラカゲロウ科	チラカゲロウ	08.10.06	京地橋
カゲロウ目	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	08.10.06	京地橋
カゲロウ目	コカゲロウ科	コカゲロウ属	08.10.06	京地橋
トンボ目	カワトンボ科	オオカワトンボ	08.10.06	京地橋
トンボ目	カワトンボ科	アオハダトンボ	08.10.06	京地橋
トンボ目	サナエトンボ科	ヤマサナエ	08.10.06	京地橋
トンボ目	サナエトンボ科	ヒメクロサナエ	08.10.06	京地橋
カワゲラ目	カワゲラ科	フタツメカワゲラ	08.10.06	京地橋
カワゲラ目	カワゲラ科	カミムラカワゲラ	08.10.06	京地橋
トビケラ目	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	08.10.06	京地橋
トビケラ目	シマトビケラ科	セリーシマトビケラ	08.10.06	京地橋
トビケラ目	カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	08.10.06	京地橋
カゲロウ目	モンカゲロウ科	モンカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カゲロウ目	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カゲロウ目	コカゲロウ科	ミジカオフタバコカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	イワヒラタカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	ウエノヒラタカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	08.10.06	一ノ瀬
カワゲラ目	カワゲラ科	クロヒゲカワゲラ	08.10.06	一ノ瀬
カワゲラ目	カワゲラ科	オオヤマカワゲラ	08.10.06	一ノ瀬
カワゲラ目	カワゲラ科	フタツメカワゲラ	08.10.06	一ノ瀬
広翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	08.10.06	一ノ瀬
双翅目	ガガンボ科	ガガンボ属	08.10.06	一ノ瀬

氷見市余川川流域京地モミ林の大型土壌動物の若干

根来 尚<sup>1)</sup>・布村 昇<sup>1)</sup>・平内好子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

<sup>2)</sup> 富山県立滑川高等学校 〒936-8507 富山県滑川市加島町45

Some soil animals in the *Abies firma* stand in Kyouchi, Himi-shi, Toyama Prefecture, central Japan

Hisashi Negoro<sup>1)</sup>, Noboru Nunomura<sup>1)</sup>, Yoshiko Hirauchi<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

<sup>2)</sup> Namerikawa High School, Kashimacho 45, Namerikawa-shi, Toyama 936-8507, Japan

氷見市余川川下流域の京地モミ林モミ林内の林床、全て2008年7月6日、平内がリッターを採取し、ツルグレン装置にかけて抽出した種をアリは根来、等脚目は布村、多足類は新島が同定した。アリ類は3亜科6属6種14個体が得られ、等脚類は3科3種、ヤスデ類1種が得られた。ヤスデ類の同定をいただいた新島漢子博士に御礼申し上げる。以下のリストのうち、アリ類の「W」はワーカー(働き蟻)を指す。

甲殻綱 Crustacea

等脚目 Isopoda

フナムシ科 Ligiidae

ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff, 1918 1個体

ナガワラジウムシ科 Trichoniscidae

ナガワラジウムシ *Haplophthalmus danicus* Budde-Lund, 1879 30個体

ワラジウムシ科 Porcelionidae

コシビロダンゴムシ科 Armadillidae

セグロコシビロダンゴムシ *Sherillo dorsaris* (Iwamoto, 1943), 5個体

等脚類は湿潤な森林を指標するヒメフナムシと、比較的乾燥していながらうっそうとした森を指標するセグロコシビロダンゴムシ、林縁などに多いナガワラジウムシが確認され、人間営為の影響する環境に出現するワラジウムシ科やオカダンゴムシ科は見られなかった。

昆虫綱 Insecta

ハチ目 Hymenoptera

アリ科 FORMICIDAE

ヤマアリ亜科 Formicinae

アメイロアリ *Paratrechina flavipes* (F. Smith, 1874) 1w.

フタフシアリ亜科 Myrmicinae

ヤマトアシナガアリ *Aphaenogaster japonica* Forel, 1911 1w.

コツノアリ *Carebara yamatonis* (Terayama, 1996) 7w.

カドフシアリ *Myrmecina nipponica* Wheeler, 1906 1w.

ハリアリ亜科 Ponerinae

ニセハリアリ *Hypoponera sauteri* Onoyama, 1989 3w.

テラニシハリアリ *Ponera scabra* Wheeler, 1928 1w.

アリ類はいずれも、富山県内の平地から丘陵地で既に記録のある種であるが、アメイロアリを除き記録された産地は少なく、特にコツノアリは南方系の種で県内では呉羽丘陵のみから記録されている種である。

倍脚綱 Diplopoda

オビヤスデ目 Polydesmida

ハバヤスデ科 Xystodesmidae

ヘラババヤスデ *Parafontaria falcifera* Verhoeff, 1936 1個体

引用文献

根来 尚. 1994. 富山県のアリ類. 富山市科学文化センター研究報告17: 35-47.